

## 群馬発酵ごはんフェスを開催

群馬県醤油味噌工業(協)

10月4日、前橋市・道の駅まえばし赤城において、群馬発酵ごはんフェスを開催した。マーケット広場で物販や醤油ガチャを行うとともに、屋内会議室で利き醤油講座など開催した。

今回は「発酵」という共通点から、群馬県菓子(工)、群馬県漬物工業(協)からも出店。昨年の開催以上に様々な商品が並んだ。

利き醤油講座では、醤油に関心のある受講者が、醤油づくりにかける技術や思い、各醤油の特徴、それぞれによく合う料理などの解説を熱心に聞き入っていた。



解説を聞きながら  
様々な醤油を試飲

## 4県の交流会に併せて講習会を開催

群馬県石油(協)

10月9日、高崎市・ホテルグランビュー高崎において、組合青年部が首都圏青年部合同交流会の一環として、「世界で進む脱炭素からの離脱と化石燃料の復権」をテーマに講習会を開催。本県に加え、東京・千葉・埼玉から参加者が集まった。講師は、キヤノングローバル戦略研究所研究

主幹・杉山大志氏。

杉山氏は、「安価な化石燃料の利用制限と、再生可能エネルギーへの高価な投資は、光熱費が上昇するので、消費の冷え込みや国際競争力の低下につながる恐れがある」と指摘。現在、日本ではほぼ全ての政党が脱炭素を推進しているが、米・露・中・印などの大国は脱炭素を推進しておらず、欧州諸国でも意見が割れつつある状況を説明。

様々な試算やデータを紹介しながら、「脱炭素推進によって得られる価値と損失する経済効果について、今一度考え直す必要があるのではないか」と呼びかけた。



杉山氏

## 組合まつり in Tokyoに参加し、 物販を通じて組合をPR

群馬県漬物工業(協) / 桐生織物(協)

10月29日、30日、東京都・東京国際フォーラムにおいて、東京都中央会が主催する「組合まつり in TOKYO」に、本会会員から2団体が出展した。

東京に各県を加えた約130の中小企業組合がブースを構え、製品紹介や販売を実施。ブース巡りを楽しむ来場者の中には常連の姿も見られた。

群馬県漬物工業(協)は、たくあんやきゅうりの一本漬け、梅ジュースなどを試食販売。ステージで行われた限定グルメ企画にも参加し、ブース外でもPRを行った。

桐生織物(協)は、シルクネクタイ、ポーチ、ストールなどを販売。来場者に商品を手に取ってもらうことで、柄の美しさだけでなく手触りの良さなど体感してもらい、技術と品質をPRした。



料理系YouTuberと企画で  
コラボ(群馬県漬物工業(協))



色とりどりの商品を販売  
(桐生織物(協))